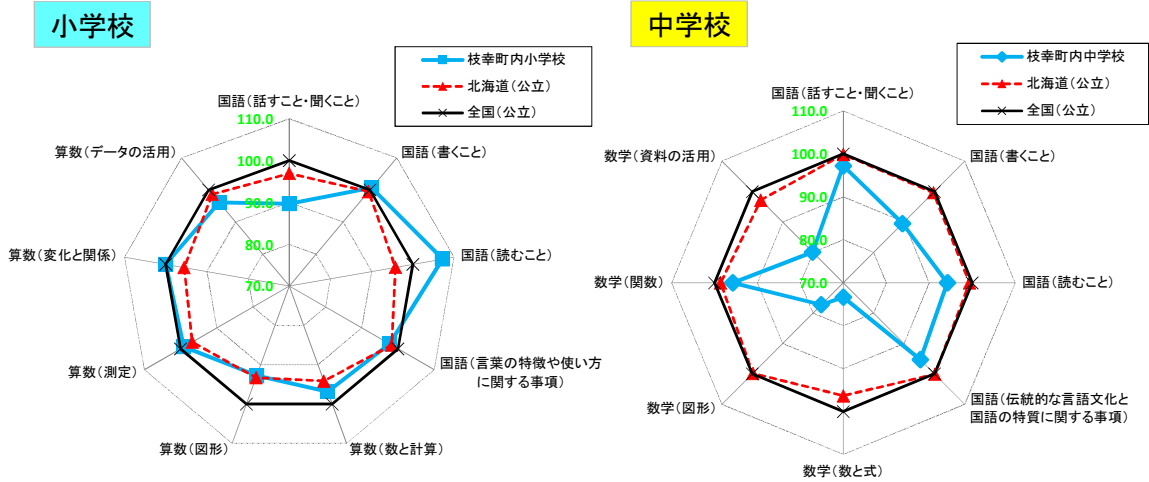


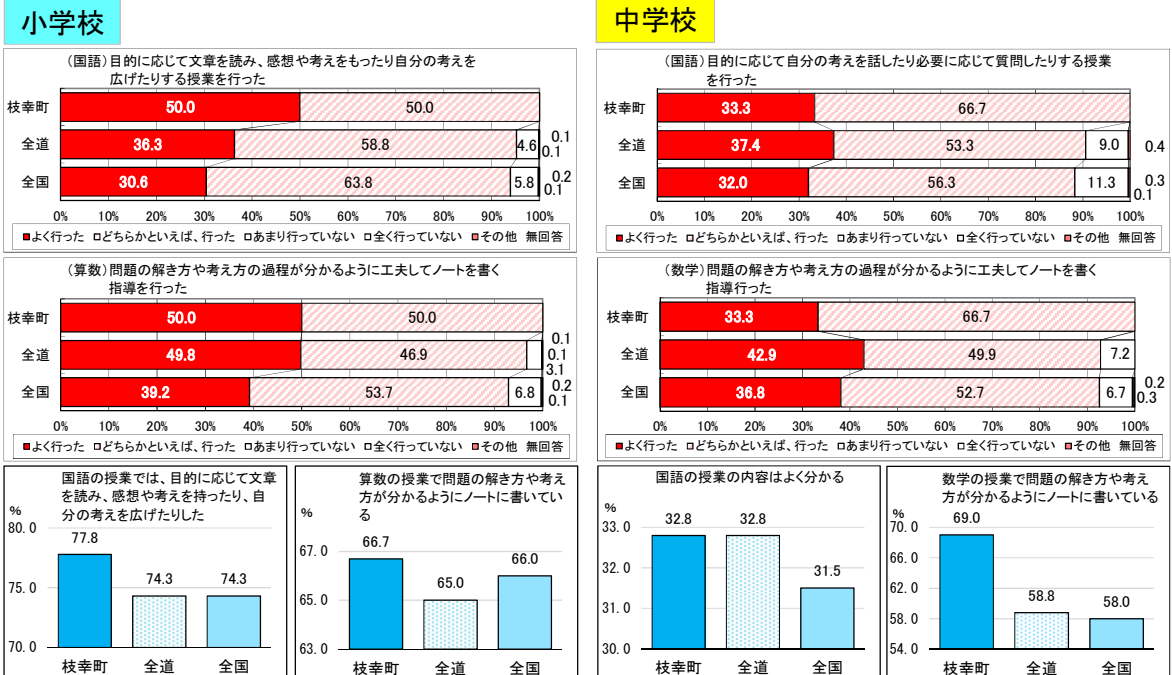
■枝幸町内の状況及び学力向上策（小学校数：6校、児童数：54人）（中学校数：3校、生徒数：58人）

【教科全体の状況】

教科の領域等別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）



【質問紙の状況】



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

国語の授業において、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり自分の考えを広げたりする授業を行ったことにより、国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしたと肯定的に回答した児童の割合及び「書くこと」「読むこと」の領域が全国を上回ったと考えられる。

算数の授業において、問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導を行ったことにより、算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていると回答した児童の割合が全国を上回り、「変化と関係」の領域が全国に最も近付いたと考えられる。

中学校

国語の授業において、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行ったことにより、国語の授業の内容はよく分かるという回答した生徒の割合が全国を上回り、「話すこと・聞くこと」の領域が全国に最も近付いたと考えられる。

数学の授業において、問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導を行ったことにより、数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていると肯定的に回答した生徒の割合が全国を上回り、「関数」の領域が全国に最も近付いたと考えられる。

【枝幸町の学力向上策】

- ◎ 1人1台端末を活用した実践的な情報活用力の育成
- ◎ 全国学力・学習状況調査の調査結果の分析を踏まえた検証改善サイクルの確立と授業改善の取組
- ◎ 「えさっ子の未来を拓く十か条」を生かした、学校・家庭・地域が一体となった学習習慣、生活習慣改善の取組の推進
- ◎ 「家庭学習のとびら」を活用した学習習慣の確立を図る取組の推進